

# 第二次草加市環境基本計画(第二版)令和3年度の実績

草加市環境基本計画は、本市がめざす「人と自然が共に生きるまち そうか」の実現に向けた環境分野における総合計画で、平成12年に草加市環境基本条例第8条に基づき策定しました。平成28年3月に前計画を全面的に見直し、第二次草加市環境基本計画を策定(計画期間:平成28年度~令和17年度の20年間)、令和2年3月に第二版への見直しを行いました。今日の多岐にわたる環境問題の解決に向けた様々な取組についてお知らせします。

## 第二次草加市環境基本計画(第二版) 短期目標に対する令和3年度実績

■:目標値達成

環境目標	指標	単位	現状値 (平成30年度)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標値 (令和5年度)
水環境の保全と創造	河川水質(BOD75%値)*1						
	綾瀬川(中曽根橋)	mg/L	2.5	3.9	3.6	3.0	2.2以下
	綾瀬川(手代橋)	mg/L	2.5	3.0	4.1	2.5	2.2以下
	古綾瀬川(綾瀬川合流地点前)	mg/L	3.4	4.7	4.8	3.1	3.0以下
	伝右川(伝右橋(下))	mg/L	2.6	2.5	3.9	2.7	2.3以下
	毛長川(鷺宮橋)	mg/L	2.1	2.8	3.2	2.3	1.9以下
	辰井川(上町境橋)	mg/L	3.1	5.8	5.7	3.6	2.9以下
	河川異常水質事件事数*2	件	19	20	15	26	0
身近な自然の保全と創造	古綾瀬自然ひろばで確認された鳥類の種類	種	14	20	16	14	27
	公園・広場等の面積	ha	57.82	57.89	59.42	59.81	58.19
	緑化推進団体の数	団体	44	43	41	41	49
	ビオトープ保全活動参加者数	人	月平均28人	- *5	21	33	月平均50人以上
低炭素社会の推進	市内から排出される温室効果ガス排出量	千t-CO2	1,277(平成28年度)	-	-	-	1,133
	市内の太陽光発電システムの導入容量	kW	18,636	-	-	-	21,000
	市民1人1日当たりの可燃ごみの排出量	g	503	506	517	498	495
	資源化率*3	%	18.6	18.3	18.5	17.6	19.8
生活環境の保全	大気、騒音・振動、ダイオキシン類の環境基準達成割合	%	85.7	78.6	82.1	75.0	92
	まちなみの美しさに対する市民の満足度*4	%	41.8	-	42.8	-	50
	市内4駅周辺における昼間の放置自転車数	台	62	43	49	34	55
行動の実践と拡大	エコライフデーへ取り組む市民の数	人	70,035	71,215	-	6,658	73,000
	草加環境推進協議会との協働によるイベント等の参加者の満足度	%	74	81.7	-	95	90
	そうか生きもの調査 集合調査会への参加者数	人	283	-	73	47	年300人以上

※1 BOD(生物化学的酸素要求量)は、川の汚れ具合を示すもので、数値が大きくなるほど汚濁しています。環境基準の適合性の判断方法として、75%値が使われます。  
 ※2 異常水質事故:着色水・濁水、油の流出、魚の浮上死などの水質事故  
 ※3 資源化率:家庭から出た「ごみ」のうち、新たに再生資源として生まれ変わった割合  
 ※4 「草加市民アンケート」による「あなたは、草加市の街並みや風景が美しく心地よいと感じていますか」という問いへの、「そう感じている」と「どちらかといえばそう感じている」を合算した回答割合  
 ※5 -は、データなし

### 水環境の保全と創造

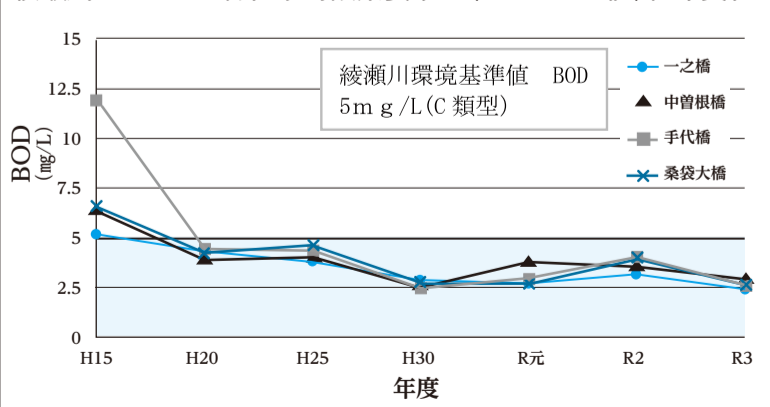
本市のシンボルである綾瀬川をはじめとする河川の水質浄化や親水空間の創造など、水環境の改善を図り、水とみどりを生かしたまちづくりを推進していきます。

#### ●綾瀬川の水質改善

綾瀬川は、急激な都市化等により水質の汚濁が進んでいましたが、水質汚濁防止法に基づく排水規制や公共下水道等の排水処理施設の整備推進により全般的に改善傾向にあります。

引き続き、より一層の水質改善を目指し、国及び県と協調した水質浄化対策や、生活排水対策及び工場・事業所の排水対策に関する周知・指導等、河川の浄化対策を実施していきます。

綾瀬川における生物化学的酸素要求量(BOD75%値)経年変化



### 身近な自然の保全と創造

市内に残された「自然」である河川や屋敷林等のみどりを守り、生きものの生息空間として、又は、自然に親しむ場所として活用していきます。

#### ●そうか生きものだより

生きもの調査員から寄せられた調査結果やレポートをもとに、身近な生きものを見分け方や生きもの調査会の感想などを掲載した『そうか生きものだより』を平成29年度から発行しています。令和3年度は第16号~19号を発行しました。

なお、令和3年度末のそうか生きもの調査員登録者は、126人となりました。

